

令和3年度の研究(または活動)内容

本研究所は、情報通信技術を用いた教育改善手法の研究を目的としています。

本年度も、新型コロナウイルスの影響があり、研究の展開は限られたものとなってしまいました。

新型コロナウイルス対策の一助として、既存の出席確認に用いる学生証読取システムとの連携を考慮した体温記録システムを開発しました。

教材の開発と講義実施の改善としては、試験問題の学習支援システムへの登録の省力化のためのシステムを開発しました。このシステムでは、登録する条件を Excel ファイルとして作成しておく、ブラウザを自動制御し、多数のオンライン試験問題を自動設置することができます。オンライン試験では公平性を確保するため、各学生に同一難易度で別々の問題を提示することが有効ですが、教員の負担が大きくなってしまいます。このシステムにより、問題設置の手間を削減することができました。自動設置したオンライン試験問題の例を図 1 に示します。

小学校教員向けのセキュリティ e-Learning 教材を作成し、試用していただくことができました。デモ画面を図 2 に示します。

昨年度作成した3年生研究室配属システムは、今年度も継続して情報通信工学科と電気電子工学科で使用しました。スクリーンショットを図 3 に示します。



図 1: 自動設置されたオンライン試験問題



図 2: セキュリティ e-Learning 教材のデモ画面

情報通信工学科 3年生研究室配属サイト

<<第1次配属希望の受付は終了しました。>>

ログイン

ユーザID:

パスワード:

Copyright © 2015-2021 Information and Communication Engineering, Tohoku Institute of Technology. All rights reserved.

図 3: 研究室配属システム